

## 2. 次世代の親の育成の推進

事業名	所管課	事業内容	指標	現状値	事業目標値
思春期サポート推進事業	こどもみらい課	思春期における性行動の活発化や低年齢化に対応するため、学校、地域、医療などの関係機関によるサポート体制を構築し、性=生に対する正しい知識の普及を進める。①思春期保健対策検討委員会を開催し「青森県における思春期対策のありかた」をまとめる。②思春期ピアカウンセラー養成講座を開催する。③思春期ピアカウンセリング広場を開設し正しい性知識の普及と悩みの相談に応ずる場をつくる。④各保健所において「思春期教室」、「思春期保健ネットワーク会議」、「思春期保健関係者研修会」を開催し各地域で思春期保健対策を推進する。	人工妊娠中絶実施率(20歳未満)(女子人口千対)	青森 13.6 (H14) 全国 12.8	全国平均 (H21)
性に関するセミナー	教育庁スポーツ健康課	児童生徒に対し、性に関する正しい判断力や適切に選択する能力を身に付けさせ、性を人間としてのあり方生き方として捉えるなど、幅広い視野に立った指導が必要なことから、性教育の指導の中心的立場にある教員等を対象とした研修を開催し、指導者の資質の向上を図る。	参加者数	138人 (H16)	150人 (H21)
エイズ予防啓発事業(エイズ予防キャンペーン開催費)	保健衛生課	性に関する意思決定や行動選択の形成過程にある青少年に対し、エイズに関する正しい知識の普及啓発と、患者の人権擁護の観点に立った施策を推進する。 ①上映希望のあった県内の高等学校を対象に、エイズを題材にして映画を上映する。	映画上映校数	8校 (H15)	9校 (H21)
エイズ予防啓発事業(一般的普及啓発事業)	保健衛生課	近年、10～20代の若者を中心に性感染症が急増していることから、主として青少年や妊婦を対象に、「性」や感染症に関する正しい知識の普及啓発を図り、性感染症の予防及び感染の拡大防止を推進する。	小冊子、パンフレット配布数	26,000枚 (H15)	30,000枚 (H21)

### 3. 命を大切にすることを育む環境づくりの推進

事業名	所管課	事業内容	指標	現状値	事業目標値
命を大切にすることを育む県民運動推進事業	青少年・男女協同参画課	「ひとつのいのち。みんなのだいじなのち。」をキャッチフレーズに、学校、家庭、地域、企業等がそれぞれの立場で、できることから運動を推進していく。	—	—	—

### 4. 子どもの安全の確保

事業名	所管課	事業内容	指標	現状値	事業目標値
子どもを犯罪・事故等の被害から守るため、関係機関・団体との情報交換の実施	警察本部生活安全企画課	「平成16年度青森県警察街頭犯罪等抑止総合対策」の対象罪種に強制わいせつ・略取誘拐を組み入れ、警察署単位で自治体、地域住民、防犯ボランティアに発生情報を提供し、抑止対策を推進する。	刑法犯認知件数	18,940件 (H15)	15,152件 (H18)
防犯ボランティアによるパトロール活動の支援	警察本部生活安全企画課	防犯ボランティア等による自主的なパトロール活動に対し、地域安全情報の提供を含め、適切な指導・助言を行い、防犯ボランティア等による子どもを犯罪から守る活動の強化を支援する。	交番・駐在所速報発行数	352,818件 (H15)	—
子ども110番の普及活動	警察本部生活安全企画課	子どもたちが被害に遭い、または遭うおそれがある場合における一時的な保護と警察等への通報を行う「子ども・女性110番の家」に対して、情報の提供、助言等必要な措置を行い、その運用を適正にする。	—	—	—

### 5. 子どもの非行防止と健全な社会環境の形成

事業名	所管課	事業内容	指標	現状値	事業目標値

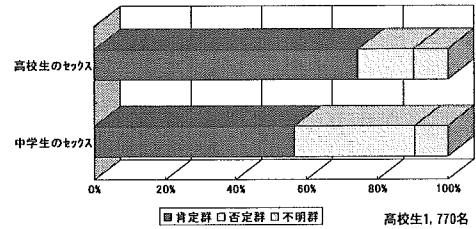
青森県少年サポートネットワークの構築	警察本部少年課	青森県青少年サポートネットワークは少年の非行問題に関係する機関・団体が相互に連携・協力して非行少年等の補導活動並びに被害少年及びその家族等に対する立ち直り支援活動等を推進し、もって少年の健全育成を図る。	関係機関連絡会議の開催	年1回 (H15)	年1回 (H21)
少年補導協力員等少年警察ボランティア等と連携した防犯パトロール活動	警察本部少年課	少年補導協力員等少年警察ボランティア等とPTA等の学校関係者が警察と連携し、学校付近や通学路などを防犯パトロールする。	—	—	—
サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業	義務教育課	いじめや暴力行為、少年非行など児童生徒の問題行動への的確な対応を行うため、学校や教育委員会のみならず、ふさわしい関係機関の職員からなる「サポートチーム」を組織して指導助言に当たるなど、モデル地域を指定して地域の支援システムづくりを行う。	指定地域数	6地域 (H15)	4地域 (H21)
有害図書等点検・立入調査事業	青少年・男女共同参画課	青森県青少年健全育成条例に基づき、青少年の健全な育成を阻害する恐れがあると図書類、特定がん具類の指定や自動販売機の点検等を行い、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動の促進を行う。	有害図書類収納自動販売機設置台数	294台 (H15)	294台 (H17)
出会い系サイトに係る犯罪被害防止対策	警察本部少年課	出会い系サイトに介した犯罪の被害から少年を守ることを目的に、出会い系サイト規制法及び出会い系サイトの危険性の広報啓発活動の推進を図る。 ①被害防止教室の開催 ②関係者による研修会の開催 ③リーフレット等の配布 ④教育機関・PTA等への被害防止のための研修の開催 ⑤プロバイダ、サイト関係者への要請	福祉犯罪被害少年における出会い系サイト介在の被害少年の割合	19% (H15)	14% (H21)

## 思春期保健のネットワーク 作りに向けて

あおもり協立病院  
平岡 友良

## セックスの容認

2004年青森市調査：平岡



## セックスの容認（年代別比較）

□ P<0.001    ■ P<0.05

中学生のセックス肯定群の比率



中学生のセックス否定群の比率



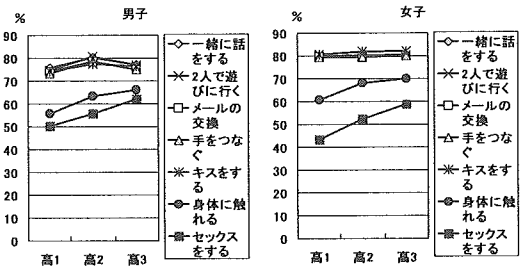
高校生のセックス肯定群の比率



高校生のセックス否定群の比率



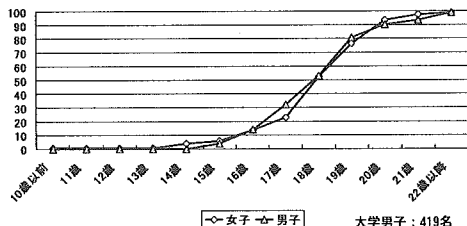
## 自分に容認される交際範囲



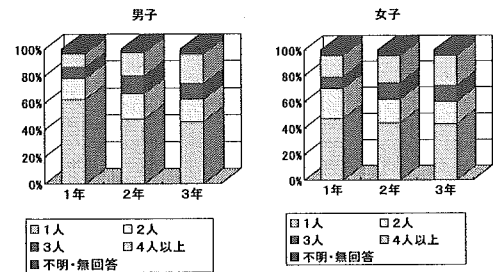
2004年全国高等学校PTA連合会調査

## セックスの経験累積率

日本性教育協会：2000年調査

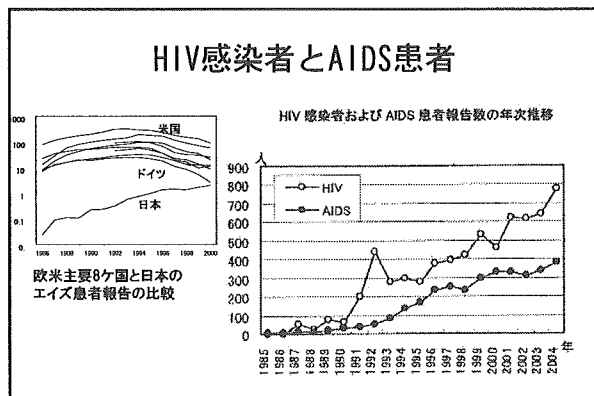
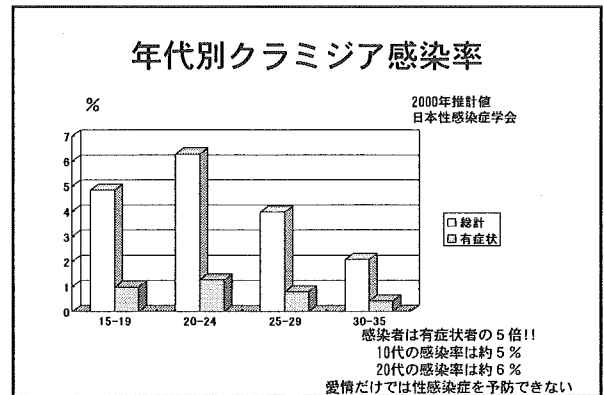
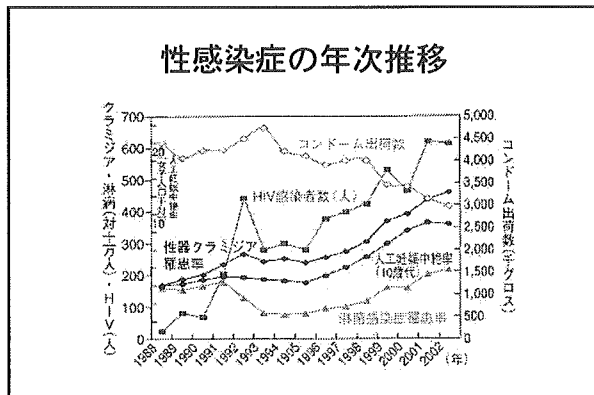
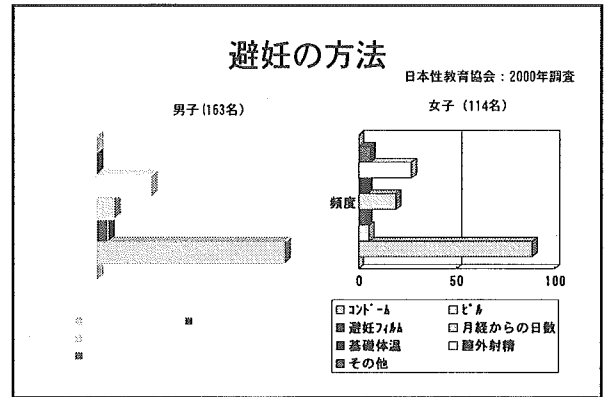
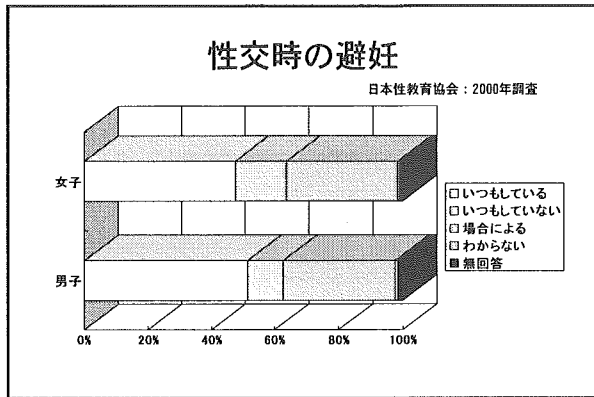


## セックスパートナーの数



高校生のこれまでの交際相手は平均3人以上

2004年全国高等学校PTA連合会調査



- ### 性感染症の予防
- 性感染症の検査を行える機会を増やす  
手術時・入院時のHIV (HIV感染が多くなれば普通のことになる)
  - 正しい性感染症予防の普及 (とりわけ地方ではエイズ予防キャンペーンも行われない)
  - 学校での性教育、地域での性の健康を守る運動の普及 (生活習慣病対策とセットで行う)
  - 性感染症を特殊な病気と見ない風土作り

## 昨年の性教育(青森市)

市内の高校→年1回の講演を行っている  
青森高校・青森西高校・青森戸山高校  
青森北高校・青森工業高校(全日制・  
定時制)・青森商業高校・青森東高校  
北斗高校(全日制・通信制・定時制)

平成16年は産婦人科医が5校  
東中・古川中・浦町中・南中・北中  
元気プラザが6校  
佃中・東中・三内中・戸山中・北中  
古川中

## 性教育講演の標準的メニュー

思春期のカラダの変化  
思春期とは  
女の子の悩み  
男の子の悩み

妊娠について  
いのちの始まり  
お腹の中の赤ちゃん  
子宮外妊娠



人工妊娠中絶  
中絶のリスク  
10代の中絶

避妊について  
コンドームについて  
ピルについて  
緊急避妊について

性感染症について

人間のいのち  
について

## 問題提起

- 医療機関としてはOCの普及にこころがける
- OCを普及することにより産婦人科医と患者のネットワークを作ることができる→ヘルスプロモーション
- 学校教育では、すべての学校が一定のレベルの性教育に取り組むことが求められる
- 中学校の性教育が重要である
- 思春期ネットワークの形成(研究会からスタートか?)

## 弘前市小・中学校性教育研究会

～「性教育の手引き」から25年～

弘前市立新和中学校 教頭 野呂知子

## 弘前市教育委員会発行 「性教育の手引き」

- 大きな柱
  - 継続は力なり
  - 小中全教師に普及する
  - 子供達のために
  - 理解と実践(講演、参考資料、公開授業)
  - 誰でも使える手引き

## 平成17年度 弘前市小・中学校性教育研究会

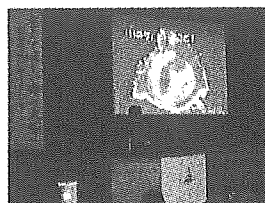
- 研究会の内容
  - 「性教育の手引き第26集」の作成
  - 性教育研修講座(年3回)
  - ステップ通信の発行(年5回)
- 第1回講座(7月22日)講話  
青森県立保健大学 中村由美子先生  
～最近の子どもの性行動の現状と課題～  
求められる大人の役割

## 平成17年度 弘前市小・中学校性教育研究会

- 第2回授業研究
  - 中学校2年生の公開授業
  - (弘前市立東目屋中学校)
- 第3回実践発表
  - 小学校の部……弘前市立三和小学校
  - 中学校の部……弘前市立第一中学校

## 平成17年度 弘前市立新和中学校の性教育

- 平成10年度から性教育及び沐浴婦体験学習を開始
- 平成16年～17年度
  - 性教育の研究指定校(2年間)



## 地域の実情に即した性教育を目指して ～家庭や小学校などの連携を中心に～

- 1年次「家庭との連携を目指した性教育」
  - 性教育に関する意識調査(保護者対象)
  - 学年別年間指導計画の作成
  - 全学年における性教育の授業実践
  - 親子思春期教室開催(3学年親子対象)
    - 講師:産婦人科医 蓮尾豊氏
  - 沐浴妊婦体験学習(3学年)
    - 保護者参加型授業
    - ゲストティーチャー:青森県立保健大学助手 玉熊和子氏

地域の実情に即した性教育を目指して  
～家庭や小学校などとの連携を中心に～

- 2年次「小中連携を目指した性教育」
  - －新和学区小・中学校の性教育の授業参観
  - －性教育強調月間(11月)
  - －親子思春期教室の開催
    - 3学年親子対象 講師:産婦人科医 蓮尾豊氏
  - －沐浴妊婦体験学習(3学年)
    - 新和学区及び自主公開授業
    - 保護者参加学習及びゲストティーチャー

## 平成16年度の性教育の実践 沐浴妊婦体験学習



## 平成17年度PTA成人教育講座



青森労災病院  
産婦人科部長  
片桐清一先生

## これからの課題

- 小・中学校・高校と連携を図った指導
- 家庭・学校・地域が一丸となった指導
- 子供達との心の交流と信頼関係
- 感動ある授業と将来への進路指導
- 性教育(心・生の教育)を取り入れた学校経営



# ★ 中学生における人工妊娠中絶に関わる問題

弘前市立東中学校 對馬朝子

## 1 異性との性行為に関して

- ・「別にいいじゃん」「誰にも迷惑かけてないし」
- ・「子どもできたら？どうにかなるって」
- ・「もしできたら？墮ろすしかないべ。お金？カンパやるし」  
「もしできたら？当然産むし。育てられるかって？どうにかなるべ  
お母さんもいるし」

○深く考えず。命というものに関しての重み感じず。

## 2 保護者としての関わり

- ・「勉強をちゃんとやれ」が子育ての主
- ・我が子に変化が起こってサインがでてでも深く考えず。
- ・気持ちをこなしやる親より、自分のプライド、おしつけが大で愛の存在が小。だから他の人に愛を求めるのかな。
- ・「できちゃった」となるとそこに人間としてのお互いの話し合いがあるかと思いきや・・・怒って怒って外出禁止はたまた異性との付き合い禁止令はたまたただ泣くばかり・・・一度「できちゃった」経験者はそれによって考えることもなくまた「できちゃった」を繰り返す。そのうち親もあきれて「もう知りません！」

○深く考えず。親の愛情勘違い。

## 3 この世の中です

- ・アダルトビデオなんてもはや隠してみるものでもなし。見たければすぐ手に入るし・・・。正常な成長過程から遥かに超えたとってもすごいお楽しみもあるそうで。「今日 わんち(僕の家)であれ見ら(見よう)につっちゃ(兄時には「とっっちゃ」だったり)借りできた」
- ・エロ本、エロマンガ本。可愛いマンガの表紙絵がエロ本だったりする。「エロ本」って話題になっていた頃はまだこっそり感があってそれも普通の成長過程でした。今？子供達話題にもしません。コンビニですぐ手に入るし、裸の画像が動くビデオ時代ですから・・・
- ・コンドームはいつでもどこでも買える。よってみんなの暗黙の了解「彼ができたらコンドーム持つこと」・・・掃除しながらのA子B子の会話「あんたあれ買った？c男だっきゃあぶねーよ」「んだっきゃねえ買うのつきあって」
- ・インターネットで気軽に画像入手。さらには携帯で殺人場面も。中3ともなると実に多くの子たちがポケットに携帯・・・「〇番とったら携帯買ってあげるよ」子は頑張る。携帯ゲットのために。子どもが喜ぶ術をこれしか持っていないとなるとむなしいかな。
- ・「昨日のテレビ(またはマンガ)見た？たんげ感動した」若い年設定(または実際に)の男女が同棲、セックスのドラマ、相談、ドキュメント・・・子供達はその設定の中に自分自身をはめこんで見て、感動したり、涙したり・・・を繰り返す。

- すてきな感性がどんどん育つこの時期に、これでもかこれでもかと「責任」という問題を無視した愛の話があちこちからシャワー。知らないうちに育つ「別にいいじゃん」「わ（私）だけじゃない」

★見えてくる課題

- 1 「命」の大切さ・重みについてふれる機会を増やす
  - ・「生」や「死」について幼児の時から家庭で・学校で・地域で語られるべき。成長段階に応じた「生教育」が常に必要と思われる。私たち教師の課題・・・たった年に1, 2度の「性教育＝生教育」で満足しないようことあるごとに誰がどこでということでもなく、必要と思ったらいつでも語れる力量が問われる。  
生死を取り扱う授業が行われずして中絶はだめよ・・・の授業は言いたいことも届きにくい。学校がそれを継続して行う事の成果は大きいと思う。
- 2 親へ「子をもっと愛しませんか」運動を至るところで。
  - ・親は原点。「食」を与えない親もどんどん増えている。親としての素敵な愛し方、接し方が親自身わからなくなって来ているのではないかと不安を感じる。いたる時、場所で困っている、悩んでいる、または違った方向へどんどん突っ走っていく保護者への語りかけが必要なのではないでしょうか。家が癒しの場でなくなるとまだまだたくさんいろいろな人に愛されたい子供達は違うところに愛を求めて行って当然かな・・・と思う。
- 3 もっと「自分でいろいろな事を考える力」をつけさせるための大人の努力
  - ・指示待ち人間とか無感動・無気力とかいろいろと言われる子供達を育て上げてしまった私達大人の責任・・・失敗すれば手間がかかるからと大人がさっさとやってしまったり、結論を押しついたり・・・私達大人が先を見越した子供への接し方を考えることが先決かなと思う。
- 4 学校とさまざまな機関との連携
  - ・性感染や中絶に関して、また性犯罪などを語る時、私達が話すよりも専門職によるリアルな話や専門知識に触れる事によって、子供達の受け止め方に真剣さが増すことがある。「自分で出来る」だけではなくたくさんのゲストティーチャーが子供に及ぼす影響はとても大きい

まだ人間的に幼い10代の子供達の性の乱れは「大人たちのあり方への警告」・・・そんな気がします。大人がそれぞれの立場で子どもと本気になって接していこうとするこのような会に出会えたことを嬉しく思います。教育とはエネルギーを出し切る充実感を教えることだと作家齋藤孝さんが言っていました。私たち教師はエネルギーを出し切る場面をたくさん設定し、「命」について常に熱く語る。これが今一番必要なことだと思っています。頑張るぞ！

# 中学校における性教育＝生教育

## 若者の悲しいかな状態

- 「集団自殺」 インターネットを通して自殺志願者を募り、どういう人物か知らない人たちと共に命を落とす若者たち
- 「自殺志願」 ささいなことでもすぐ「死にたい」を口にし、手首を切りたがる若者たち
- 「幼児虐待」 わが子が言うことを聞かないからと、育むべき子供の命を踏み潰してしまう若者たち
- 「暴力・いじめ」親を、級友を、後輩を、兄弟姉妹にいとも簡単に暴力で解決してしまおうとする若者たち
- 「妊娠・中絶」好きならばいいじゃないの！誰にも迷惑はかけちゃいないと肉体関係。妊娠したら中絶すればいいじゃんと思える命に執着心を持たない若者たち
- 「性感染症の増加」メル友・出会い系サイトをはじめ、不特定多数の交際をやめられないことにより自分の体を大切にできない若者たち
  
- そして最近、携帯電話の画面にイラクで殺害された若者（甲田さん）の殺害される生の映像が見られるということで、かなりの中高生が興味まるだしで映像を求めていました。のこで首が落とされる映像なんぞを見たいと思う若者たち

などなど・・・

## そこから見えてくるもの

「命」が恐ろしいほど軽いものとしてとらえられています。すべての問題がそこから始まっていると思われれます。上に掲げた状態が改善されるには「命の大切さ」を小さいときから、成長過程に合わせて繰り返し、本気で行われなければならないと感じます。家庭で学校でそして社会全体で取り組まなければならない大きな課題だと、最近特に、みんなが感じていることです。

## そんな世の中での中学校は

(人間との関わりにおいてのマイナス面)

- 「ある特定の子としかグループになれない。自分に関わる子以外を排除したがる」を悩みとする学級が多く、修学旅行の班決めなどで悩む学級もある。
- 男女交際が、ある時期を(学校祭、宿泊訓練、修学旅行)境に、派手にまたは水面下で広がり、学習の意欲減退や集団生活の乱れにつながる。・・・「1年のときはキス、2年になったらその先・・・結構まじめなやつも付き合ってる。知らねの親と先生だけだよ」とよく聞いた言葉
- 先輩がささいなこと後輩に暴力を振るう。後輩が先輩の悪口を言うことにより上下関係が崩れることもある。尊敬し、面倒を見る関係ができず、悩む部活や学年もある

# 学校学級の悩みを性教育(生教育)で解決する

## ～ 学級担任が取り組む性教育 ～

### 実践 1

両親とのぶつかり合いが多いこの時期、朝から母親を「くそババア」父親を「あの人」と呼びさらには「家に帰りたぐねえ」・・・家庭でのトラブルが多い日は生徒間の言葉もドキッとすると冷たさがあり、繊細な子はその言葉に傷つく。そんな状況を改善したい

★ 親子の会話が減ってきている今命の原点にかえり、母子手帳等を通して現状を解決したい

資料 1 お母さんへの手紙

資料 2 今知りたいこと(性に関すること)

「みんなの命はどうやってスタートしたのしょうね」		
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10ヶ月ママ紹介(生徒数名)そのまま授業を受けさせる</li> <li>○ 600CCの赤い水をみせ「これは何でしょう」</li> </ul>	妊婦服 & 3Kの重り 私の出産時出血量 答えを言わない
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「今知りたいこと」のアンケート結果を見せる</li> <li>○ 疑問のひとつ(なぜ)何個もの精子と卵子から1つしかくっつかないのか(一人しか生まれないか)について説明する</li> <li>○ いくつもの困難を越えて結びつくことの出来た精子と卵子のその後をビデオで見せる</li> <li>○ それぞれの母子手帳を見てもらう。分娩所要時間、出血量、頭囲等に触れることで「産まれること」について考えさせる</li> <li>○ 10ヶ月ママから一言述べさせる</li> <li>○ 600CCの赤い水は私の出産の際の出血量であることを述べる</li> <li>○ 以前書かせた「お母さんへの手紙」を思い出させる (心ない手紙の一部を読む)</li> <li>○ お母さんからの手紙「ここまで育てくれたわが子へ」という手紙を封をしたまま個々へ渡す</li> <li>○ 今思うことを書く</li> </ul>	アンケートは事前に実施 画用紙・針 ビデオ「生命創造」 親を意識する 「すごい」感動 苦しい・重い 出産の危険性にも触れる ひどいことばかり言っていることに気づく 事前に秘密に用意 母親の真心に触れる：感謝
結末	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 命の出現への戦い、出産への命がけの奮闘などの学習から自分の命の尊さ+この世に産んでくれたことへの感謝に触れる</li> </ul>	

結果 親からの手紙を読んで子供たちが人目をはばからず泣きました。最後に書かせた「今思うこと」の感想に「今日はおふくろの肩をもんでみようかな」と書いた男子・・・次の日の朝、学級の空気がとてもやわらかかったのはいうまでもありません。その後「くそババア」のような過激な発言はあまり聞かれなくなりました。

実施学年 2年生

3年生 (親からの手紙・子供から親への手紙は卒業式に渡した)

(親からの手紙のみに関しては修学旅行の2日目にホテルにて渡したこともある)

実践 2

学級に右半身麻痺の子がいる。1年のときからいじめが続いてきたことを聞き、いじめと感じる行為を許さないことを常に伝えてきた。表面では平和な時が流れているように見えた。しかし実際は裏でいじめが続いていたことを知り、心では何も理解されていないことがわかった。「大人の前でいい子を演じる子供たち」に本音で話し合うことの必要性を感じている。右半身麻痺の子の不自由さを理解できないうえに「邪魔」という子達の心が優しい言葉をかけられなくてもせめて彼女の気持ちを感じ取れる人間に近づかせたい

★精子・卵子から始まった命の原点に戻り、改めて命の重みについて考えさせ、「軽く扱われていい命があるのだろうか」という点から現状を解決できないだろうか

- 資料 3 障害のある人をどう思いますか (本音で)
- 資料 4 Sさん(右半身麻痺の子)にしてしまったこと
- 資料 5 Sさんのお兄さんからの手紙
- 資料 6 Sさんのお母さんからの手紙
- 資料 7 Sさんからのメッセージ

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3Kの赤ちゃん人形を登場させ抱いたり触ったりさせる(赤ちゃんへの興味づけ)</li> <li>○ 級友の一人(実はSさんだが名前を伏せる)の母子手帳を見せる</li> </ul>	自分が生まれた頃を思い出させる
展開	<p><b>みんなはどうしてここでこうして生きているのだろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 命が生まれる瞬間について復習確認をする</li> <li>○ 子宮内の10ヶ月をみせどんどん形成されていく胎児の流れを改めて観察する</li> <li>○ こんなふうに育っている命について思ったことを発表させる</li> </ul> <p><b>人間は一人残らずお母さんの体内で育った後誕生を迎えるよ。涙が出る瞬間だよ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 母親の苦しい陣痛を超えて誕生してくる瞬間の感動を感じ取らせる</li> </ul> <p><b>誰もがみんなこうやってこの世に誕生したよ。障害をもった人も。Sさんもね。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害をもった人について書いた本音のアンケート結果を見る</li> <li>○ みんながSさんにしてきたことを聞き、自分のした行為も振り返る。</li> <li>○ Sさんの兄が書いた手紙からおにいちゃんの思いを知らせる</li> <li>○ Sさんを産んだお母さんが必死の思いで育ててきたことを手紙を読んで知らせる</li> <li>○ 本人の気持ちを知らせる</li> </ul> <p><b>大切にされなくていい命ってあっていいのかな</b></p>	<p>ビデオ「生命創造」の受精の部分を見せる 胎児成長パネルと「生命創造」の胎児成長部分を見せる すごい！偉大だ！</p> <p>ビデオ「ドキュメント 出産」</p> <p>事前アンケートより</p>
結末	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Sさんの命と自分の命の重みについて考えさせる</li> <li>○ 心から笑っているS産の写真を掲げ、教室では見せない彼女の笑顔に触れさせる</li> <li>○ 担任の思いを話す。「いつか教室で」一人残らず全員が笑い会える日がきますように・・・」</li> </ul>	

結果

教室にあたたかな空気が流れるようになりました。思った以上に子供たちはどうありたいかという空気を感ずる力がありそれ以来彼女への汚い言葉は誰も聞いていないことが分かりました。特別に仲良くしてくれる友達は最期まで出来ませんでした。彼女の居場所がクラスにちゃんと出来たのは子供達の心の何かに変化があったかな・・・と思われます。その後の修学旅行では、下半身麻痺ということで彼女は班に入らず私と自主見学をすることにしましたが、受け入れる班があり、とても楽しい思い出を作って卒業していきました。

実施学年 2年生 何度か実施（揺れる学年としていじめも多い）  
その後「中村久子の一生」のビデオ等を鑑賞

実践 3

「死ぬ」「殺す」の言葉が非常に多く飛び交い、また落ちてい  
る手紙にも「死んでまれ！」「いなくなればいい」の言葉が  
あちこちに。あわせて、何か障害にぶつかるとすぐ「死にた  
い」を口にする。現実には手首にカッター傷を作っている子（死  
には至らない見せるための傷だが）もいる。命をもてあそぶ  
ことの腹立たしさから「命について深く考える」ことの必要  
性を感じ、どうにかしたい

- 資料 8 大河内清輝君（14歳）の遺書
- 資料 9 お母さんが清輝君の学校の生徒たちにあてた手紙
- 資料 10 みんなの感想

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「死ぬってどんなこと？」聞いてみる</li> <li>○「死にたいと思ったことがあるか？」「どんなとき？」</li> <li>○「これは何だと思う？」大河内君の遺書を封筒に入れたものを見せる</li> </ul>	<p>息をしないこと かたくなること 目を開けないことなど</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○死ぬしか方法が見つからずに実際に死んでしまった同年代の子の遺書を読む</li> <li>○周囲の人たちの苦悩を話し、その子のお母さんの気持ちがこめられた手紙を読む</li> <li><b>死ぬって、せつかく誕生した存在が消えることなんだよ</b></li> <li>○体内で受精した瞬間光を放つ場面と陣痛の苦しみを何度も乗り越えながら力を振り絞ってわが子を産み、産んだ瞬間涙を流す場面を見せる</li> <li><b>人は瞬間はみな同じスタート。心から話し合えば必ず通じる。死んでほしいと思う人はいなくなる 本当だよ</b></li> <li>○受精した瞬間の次からの体内で育つ様子を黙ってみせたあと赤ちゃん人形をひょいと出してにっこりと笑う</li> </ul>	<p>ビデオ「生命創造」の受精の瞬間と「ドキュメント出産」</p>
結末	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絶対死なないこと。絶対殺さなないこと。一人ではないこと。命はやり直しができないことを話す</li> <li>○今の思いを書かせる</li> </ul>	

結果

遺書を読んでいる時教室は物音ひとつしなくなります。  
 生唾を飲み込む音が聞こえそうなくらい子供たちは動かなくなります。  
 簡単に考えている「死」が近いところを感じる瞬間だと思えます。かといって「死ね」という言葉がなくなったかというとまだまだたくさん存在しています。  
 「死」と向き合うことによって「生きること」「命の重み」を感じるのは必要だと思います。1度きりではなくいろいろな機会をとらえて「命を語る」必要性も常に感じます。

実施学年 1, 2, 3 学年 (1年生に関しては出産シーンはそれにいたる事前指導が必要と感じる)

実践 4

カップルが非常に多い。「コンドームの持ち歩き」「あいつとあいつ寝た」といううわさが入ってくる。「別にいいじゃん誰に迷惑かけるわけでないし」「彼女いねなんてダサい」こんな学年は集団としてもざわつき落ち着きがない。行き着く先には妊娠の心配もある。命をなんと考えるか。命への責任は？ という問いかけからもっと真剣にいろいろなことを考える気持ちを持たせたい

導入	今付き合っている人との子供がお腹にいることがわかりました。どうする？(本音で)	産む○ 産まない× ずっと悩んで結論が出ない△を書かせる	上記以外に最近は性感染症の増加も大きな問題であるため、私たちが
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○胎児が育つ過程を復習</li> <li>○この子はいらないと決断された子の命について</li> <li>○受精して3～6週間で1 cmに満たない胎児でも心臓・脳・目耳鼻・手足の原型が出来ることを話す</li> <li>○妊娠12週の胎児の様子を話す</li> <li>○胎児が育つビデオを見せる</li> <li>○人工妊娠中絶について 子宮内容掻爬術その後に伴う危険 そのときの胎児の様子(取り出されても)しばらくは生きています)を話す。</li> <li>○セックスは誰でも出来るが「命を捨てる」か「産むことと育てること」の選択が伴う どちらも大変であることを話す</li> </ul> <p>「誰にも迷惑はかからないか!」「この世に生を受けた子供に全部負担がかかる」それでその後も自分だけ幸せでいられるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「あなたが今ここに存在するのはなぜか」を考えさせる</li> <li>○あなたは何歳で子供がほしいですか その時あなたはどんな職につきどんな家庭をもっているか想像してみよう</li> </ul>	<p>胎児 10ヶ月までのパネルを見せる</p> <p>手足・歯・内臓完成 脳が発達・快不快を感じる心が出来始める</p> <p>人生設計の1部 安定した家庭生活のもとに子供がいることの幸せに触れさせる</p>	
結末	○ただ「好き」だけの付き合いは好き!に あこがれているだけ。お互いを本当に大切に出来るすてきなパートナーがどこかにいるよ		

## 実践 5

上記以外に最近では性感染症増加も大きな問題であるため、私達が本などで知識を得て話す他に産婦人科医よりリアルな話を知識として教えた方が良いのではと、白鳥産婦人科の先生を招き、「性感染症」「望まない妊娠」について話していただきました。専門的な知識はどんどん関係機関に協力していただきました。知識に関しては専門の方を招くのも子供達には新鮮に伝わると思いました。

### 資料 1 1

## 実践 6

朝に読み聞かせを実施。みんなで共有する時間に「命」を課題に選択することにより個々に考える時間を与える。

「こぎつねへレンが残したもの」 竹田津 実作

読み聞かせ終了後動物の命の誕生について学習する

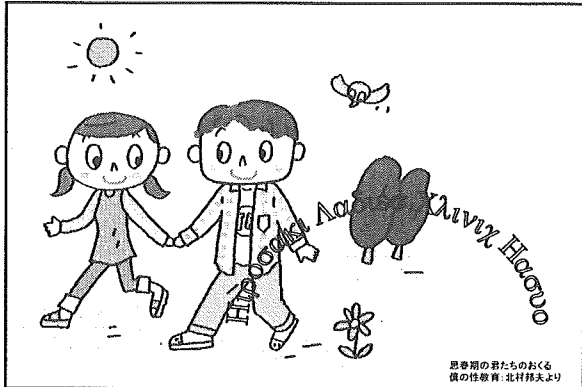
- ・ 「命」は人も動物も同じなんだ。一生懸命生きることの感動を感じ取らせる

### 資料 1 2 一言感想

世の中はとてもしすぎすしてきました。だからこそ生教育は今こそ必要と感じます。「命の大切さ」は子供たちの一番身近にいる人たちが教えるべきだと思います。それが親であり、兄弟であり、私たち教師かなと思います。性教育にはたくさんの伝えるべき内容がありますが、私はまず「命をたいせつにしよう！」を教えることでたくさんのことが解決されていくような気がするのはいちよっとなあまいかもしれませんが。

命の教育は答えを求めるのではなく自分で考えさせる事が重要なこと。命の教育をするにはまず私たちがどれほど真剣に命と向かい合っているかが重要なこと。これらを考えるとき、私たちはもっと本気になっているいろいろな情報を蓄え、確かな力で大切なことを伝えていかなければならないと改めて思い知らされます。





2005-07-29

「10代の性」ワークショップ

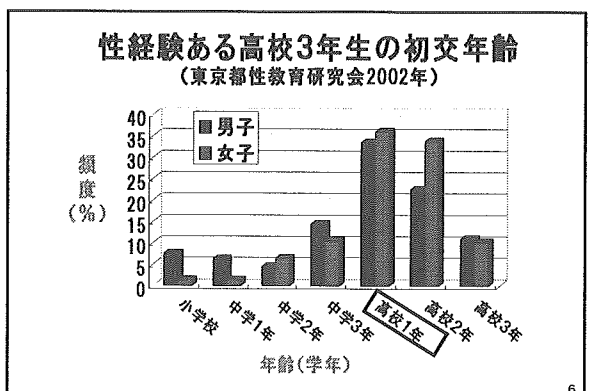
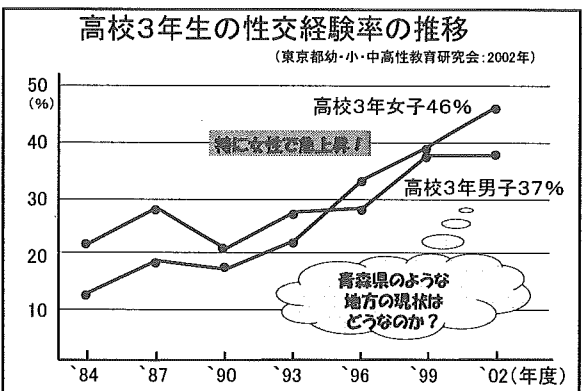
「思春期の現状と課題」

10代の性行動、性感染症、性教育

弘前レディスクリニックはすお  
蓮尾 豊

- 講演に先立って
- 性教育は重要な問題ですが、その必要性が問われています。
  - 思春期の現状を知らなければ、性教育不専、無用論も出てきます。
  - かなりショックな内容になるかもしれませんが、今日は思春期の現状、ことにこの青森県の現状を中心に話します。
  - 青森県の思春期の現状を認識した上で、私たちがどう行動すればいいのか、何をすべきなのかを考えたいと思います。

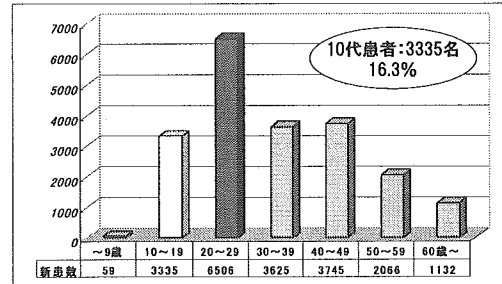
- 講演内容
1. 思春期外来成績
    - ① 外来患者の年齢分布
    - ② 思春期患者の受診理由
    - ③ 思春期妊娠の現状
    - ④ 思春期性感染症の現状
  2. 命の大切さ(やはり性教育は必要)  
中・高校生の性教育で使用しているスライドも含めながら話します!



## 思春期外来成績

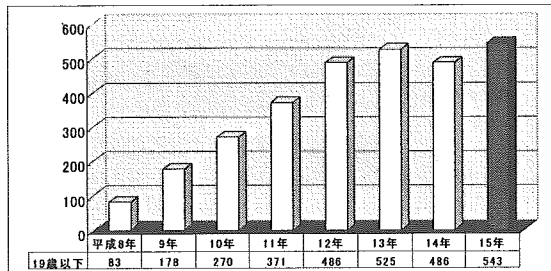
## 外来患者の年齢分布

1996年(H8年)1月～2004年(H16年)12月31日:総数20,468名



## 19歳以下：新患数の推移

1996年(H8年)1月～2003年(H15年)12月:2,937名

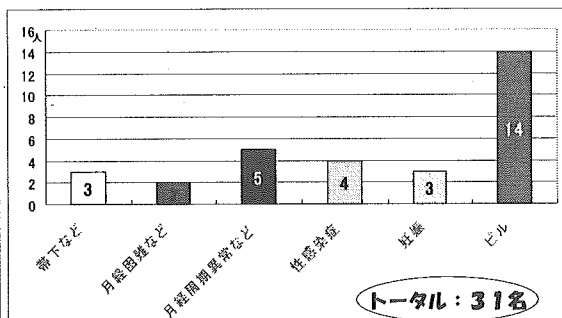


## 3,335名の10代患者受診理由

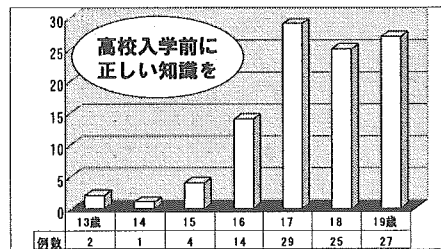
年齢	注釈	帯下	STD検査	遊泳排尿	緊急来院	妊婦検査
10		7				
11						
10代		2				
11						2
12		3				
13		2	8		6	3
14		10	34	11	10	21
15		34	47	15	71	71
16		113	91	20	44	137
17		76	101	29	89	176
18		131	68	47	81	209
合計		378	349	122	301	619

(弘前レディスクリニックはすおデータ) 10

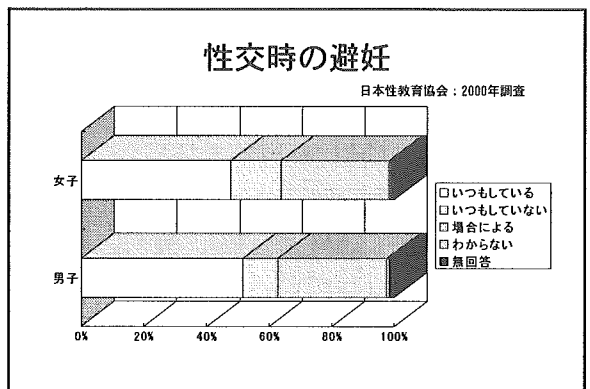
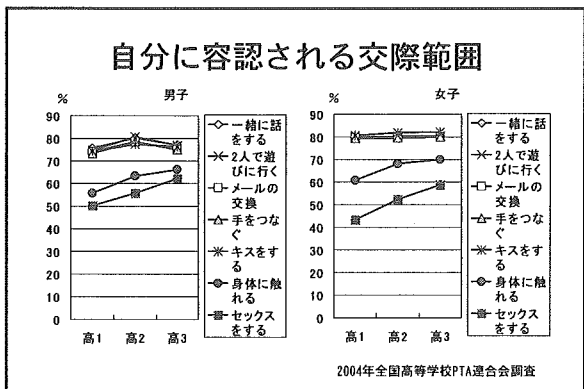
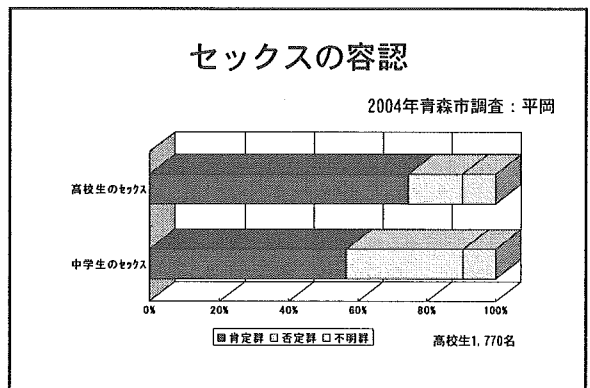
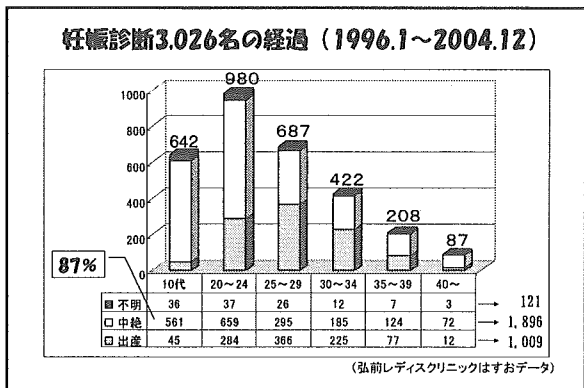
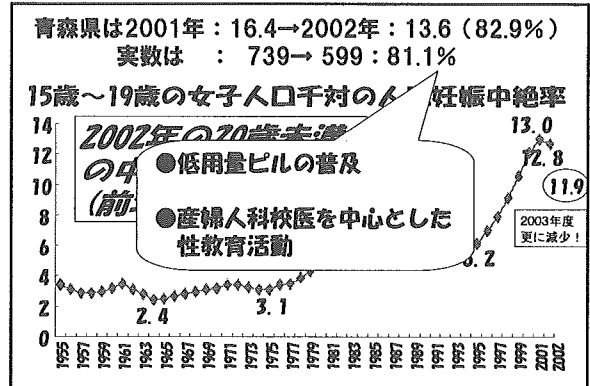
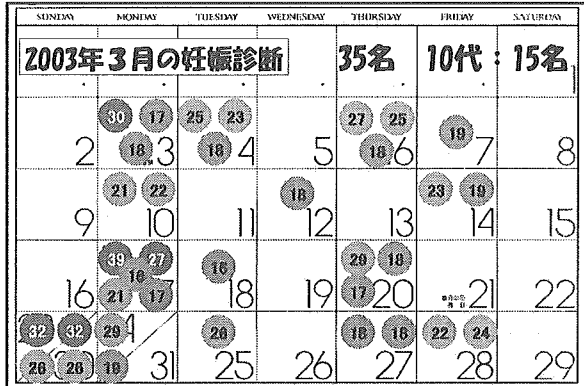
## 某日の10代患者受診理由

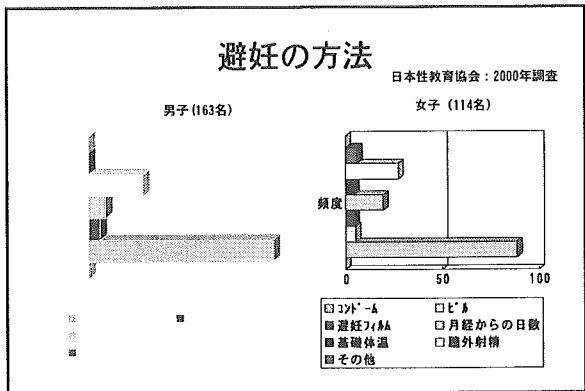


## 10代のD&C 102名 (2001年:平成13年) 75名の中高校生



12





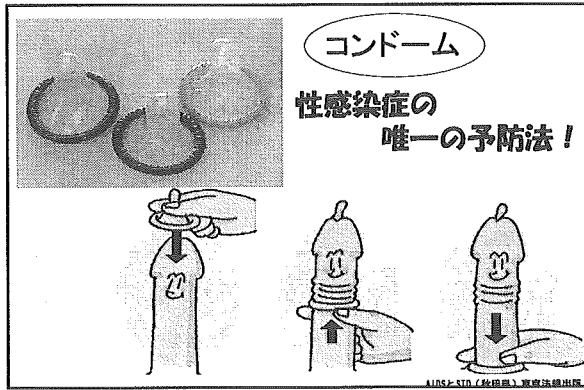
## 避妊 (法) とは？

性行為  
セックス  
エッチ

があっても妊娠しないようにすること

20

産婦人科医師が  
若者に勧める避妊方法は  
たったふたつ



### ピル(経口避妊薬)：最も正確な避妊法

飲み忘れがなければ  
失敗は  
限りなくゼロ

23

## OC

OCがあなたにできること

高い避妊効果とたくさんの利点(副効果)

- 月経痛がなくなる、軽くなる
- 月経不順が治る
- 月経血量が減少する
- 月経前症候群が軽快する
- 卵巣癌・子宮体癌が減少する
- 良性の乳腺疾患が減少する
- ニキビが軽快する

最大の利点は生活全般の改善  
Life Design Drugs